



第9回まつもと子ども未来委員会の報告

平成 28 年 1 1 月 2 日

第2期の第9回目まつもと子ども未来委員会は、平成28年10月22日（土）まつもと市民芸術館で行いました。この日は、35人の委員のうち、小学校5年生から中学3年生までの、10人の委員が出席しました。進行は、副委員長にお願いしました。

1 松本のPRについて

この日は、まつもとのPRについて、もう少し詳しく学習してみました。7月の学習会のときも来てくれた、松本市観光温泉課の人がお話に来てくれました。

(1) 観光客のこと

まず、観光客のことを学習しました。携帯電話会社のauが、携帯電話のGPSの機能や、携帯電話を買うときのお客さんの年齢など）を使って観光客のことを分析していて、その結果を教えてくださいました。



松本市やその近くで60分以上滞在したのは2万人くらいです。そのうち、半分かくらいの方が、長野県内から来ていて、一番多いです。また、年齢や性別から見ると、50才以上の男の人が一番多く来ているようです。ほかにも、松本やその近くに、夫婦で観光に来る人が一番多いことが分かりました。夫婦で来る人が多いから、若い人や子どもよりも、50才以上の人数が多いのかもしれません。

また、松本地域に来たことがある人の半分以上は、松本城や上高地に来たことがあると答えています。どれくらい来ているかというと、上高地に来る人が一年間で100万人以上、松本城に来る人が、97万人くらいだそうです。ただし、松本城に来ている人の数は、チケットを買って天守閣に登った人数しかカウントできないので、お堀など、チケットのいない場所だけ観光



に来た人数をいれると、もっと多いかもしれません。

外国人観光客は、市内のホテルなどに泊まった人の数を市で調べています。去年(平成27年)、一番多かったのは台湾から来た人で、次に多かったのが中国から来た人でした。ただし、中国から来た人は、おとし（平成26年）から3倍くら

いに、すごく増えているのが分かりました。

市では、松本市のホームページや、若い人がインターネットで情報を集めていることから、観光情報サイトで松本のPRをしています。見ている人に、もっと分かりやすくするために、ホームページの見た目などを工夫したいとお話してくれました。

(2) 特産品のこと

次に、特産品のことを教わりました。松本では、山賊焼き^{さんぞくや}をいろいろなところでアピールして、給食にも出てきています。また、松本市のなかで、山賊焼き^{さんぞくや}を食べられるお店のパンフレットを配ったりしています。

ほかにも、松本ならではの食材を使ったり、松本のイメージに合うような見た目の「松本スイーツ」のレシピを全国から募集^{ほしゅう}して、松本市内のお菓子職人^{かししょくにん}の人が商品化しているそうです。

2 意見交換

学習会の後は、意見交換をしました。

- ✧ 松本地域のことを知らない人が、7.8%もいるので、新聞などに宣伝記事^{せんでん}を書いてもらう。
- ✧ 県外のスーパーで、松本のスイーツを売る。
- ✧ キッセイ文化ホールなどで、有名な人にコンサートをしてもらい、そこで松本の特産品を売る。



★ 観光温泉課から：とても良い案だと思います。だけど、キッセイ文化ホールは長野県のもので、実は松本市のものではありません。せっかくなので、松本市のものである、「まつもと市民芸術館」でコンサートをしてPRすると、もっと良いのかもしれない。

- ✧ 山賊焼き^{さんぞくや}を広めるために、県外のイベントに参加する。
- ✧ 若い人たちに山賊焼き^{さんぞくや}を食べてもらうためにアレンジメニューをつくる。
- ✧ 山賊焼き^{さんぞくや}を家でも食べられるように、山賊焼きの料理教室をやる。

★ 観光温泉課から：「山賊焼き^{さんぞくや}」のことを、いろいろ考えてくれてありがとうございます。皆さん、給食やお店だけではなくて、おうちでも、ぜひ山賊焼きを自分で作って、食べてみてください。おいしさを、皆さんから広めるのも、良いPRになると思います。

次回の委員会は、11月13日（日）あがたの森文化会館で開催します。次回は、11月27日（日）の「松本子どもの権利の日」市民フォーラムでの発表の準備をします。